



やまびこ

大船渡市立盛小学校
令和6年度 NO.10
(通算 1080号)
令和6年9月17日発行
文責：市村康之

●すすんで学び共に学ぶ子ども ●認め合い共によりよく生きる子ども ●心身共にたくましくなやかな子ども

プール納め（9月10日）



9月10日（火）朝活動の時間において、全校児童がホールに集まり「プール納め」の式を行いました。各学年代表1名の児童（1年 熊谷 奏汰さん、2年 湊上 杏南さん、3年 磯谷 莉空さん、4年 多田 桜翼さん、5年 及川 結心さん、6年 鈴木 湧真さん）がプール学習でがんばったことや、できるようになったことを立派な態度で発表しました。

今年度は、夏休みを除き32日間のプール利用となり、大船渡市内の小学校でも多めの利用回数になりました。プールの水に顔をつけられなかった児童が、しっかりと顔をつけて潜ることができるようになったり、より長い距離を、より速く泳げるようになったり、新たな泳法をマスターしたりするなど、それぞれにプール学習をがんばることができました。毎日の水着の準備や洗濯など、ご家庭の協力をいただいたおかげであると感謝しております。ありがとうございました！

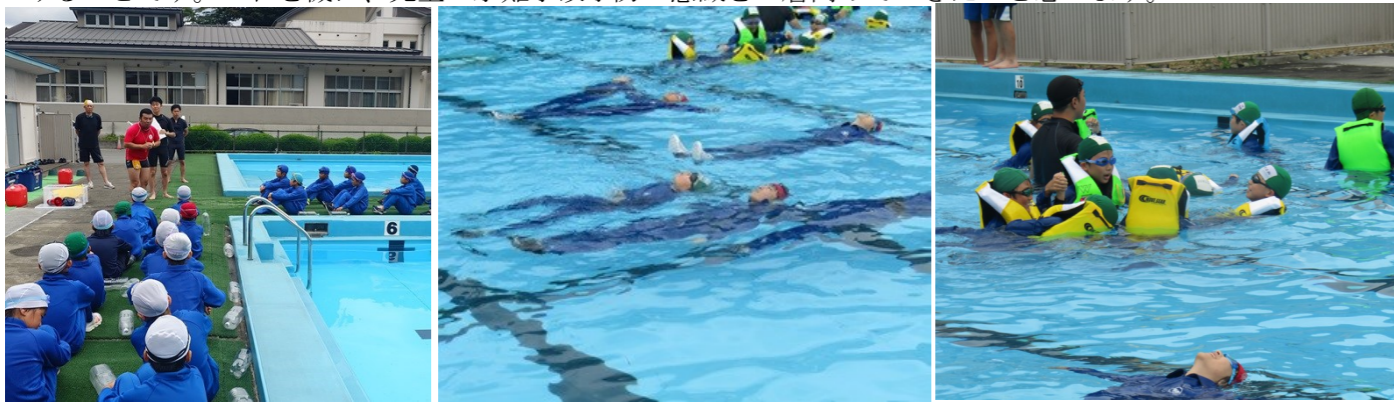
着衣泳（3～6年生）

9月6日には、大船渡消防署員の方を講師に、3～6年生が「着衣泳」を体験しました。

- ◇服を着たまま水の中を動いたり、泳いだりすることはとても難しい！
- ◇ペットボトルなどの浮力のあるものを使い、体の力を抜いて仰向けになると浮かぶことができる！
- ◇救命胴衣は水に浮きやすく、水の事故を防ぐことができる道具である！

以上、消防署員の方から教えていただいたり、体験したりしたことで、水難事故について改めて考えるとともに、身を守る方法を学ぶことができました。

万が一に備えての「着衣泳」体験でしたが、最も重要なことは、水難事故にあわないように十分に気をつけることです。これを機に、児童の水難事故予防の意識を一層高めていきたいと思えます。



希子先生 ありがとう！（教育実習）

本校の卒業生、長岩希子さんが8月26日から9月6日の2週間、教育実習をしました。主に2年生を中心に実習を行い、最終日には児童が涙を流して別れを惜しむなど、学習や遊びなどを通じて、子どもたちとの絆を深めてくれました。



ふわふわハッピーライブの皆さんとの音楽交流

9月2日（月）、「ふわふわハッピーライブ」の皆さんが来校し、3年生と音楽交流をしていただきました。「ふわふわハッピーライブ」の皆さんは、音楽活動を通じて支援活動を行っており、東日本大震災以降、大船渡でも多くの支援活動をなさっています。昨年度も本校に訪問していただき、演奏をしていただいたり、給食の白衣を寄付していただいたりしました。

今回は、3年生に演奏を聴かせてくださったり、楽器の説明とともに実際に触らせていただいたり、一緒に給食を食べたりしました。3年生の児童は、聴くだけではなく、一緒に歌ったり、楽器に触れたりしながら、楽しい時間を過ごすことができました。



タブレットの使い方



9月6日（金）、大船渡市教育委員会に配置されているICT支援員の方から、1年生がタブレットの使い方を教えていただきました。今回は、自分のIDやパスワードを入力するなど、タブレット使用にかかわる基本的な操作をていねいに教えていただきました。

ICT支援員は大船渡市教育委員会に2名配置されており、タブレット等のICT機器の設定や、授業での活用法など、各学校でのICT活用において幅広く対応していただいています。

家庭教育学級【文化教養部事業】

9月3日（火）、PTA文化教養部事業として、大船渡バレー教室の中村 愛先生を講師に、「ストレッチでケガをしない身体づくり」の家庭教育学級を開催しました。

中村先生に様々なストレッチやその効果を教えていただき、無理なくお子さんと楽しくふれあいがながらできることなど、大変好評な事業となりました。文化教養部の皆様、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



「こどもの人権SOSチャット」運用開始について

こどもの心の小さなSOSに耳を傾け、支援につなげる取組として、インターネットブラウザを介してアクセスができるチャット形式による人権相談「こどもの人権SOSチャット」の運用を、法務省の人権擁護機関が開始しました。また、引き続き、「LINEじんけん相談」「SOSミニレター」などの「こどもの人権110番」も行っています。

※上記は法務省からの周知依頼によるもの